

市町村議会

給食費の無償化可決

湯沢市は 24 年度一般会計当初予算案のほか、追加提出された同補正予算案など 43 件を可決、同意。陳情に基づく意見書案 4 件を可決して閉会した。

当初予算は 313 億 6 千万円で過去最大。 **小中学校の給食費を無償化する事業費 1 億 699 万円などを盛った。** 追加提出の補正予算は物価高騰対応重点支援事業費 4 億 2117 万円で、新たに単位住民税均等割非課税となる世帯、住民税均等割のみ課税となる世帯に 10 万円を、両対象世帯に子ども 1 人当たり 5 万円を支給するなどの内容。累計は 317 億 8117 万円。(小林智彦)

(令和 6 年 3 月 23 日 (土) 秋田魁新聞「市町村議会 22 日」より一部抜粋)

県内の学校給食を巡っては、秋田市と大仙市が値上げ分を市で負担する予算案を 3 月定例会に提出。男鹿市など 7 市町村は無償化しており、湯沢市と三種町も 24 年度から導入する。青森県は 10 月から全小中学校で一律で無償化する方針を示している。

男鹿市内 5 小中学校 **旬のワカメ味わう** 地元水産加工業者が提供

男鹿沖で収穫した養殖ワカメが男鹿東、男鹿南の両中学校内にある共同調理場に寄贈された。両調理場で手がける 5 小中学校の給食で、早速提供され、子どもたちが地元の海の幸を味わった。

ワカメを提供したのは、男鹿市船川港台島の水産加工業「涉水産」(鈴木渉代表)。地場の海産物のおいしさを知り、漁業に関心を持ってもらおうと、小中学校の給食向けに毎年寄贈している。

今年は 18 日、前日に刈り取ってゆでたワカメ 7 キロを早朝から加工し、両中学校内にある調理場に運んだ。みそ汁やかき玉汁に調理した後、管内の小中学校の給食で提供され、子どもたちが地元の旬の味に舌鼓を打った。鈴木代表は「漁業に携わる人が年々少なくなっている。今が旬のワカメを味わってもらい、海に携わる仕事に興味を持ってもらえばいい」と話した。(藤田祥子) (令和 6 年 3 月 24 日 (日)「秋田魁新聞」より一部抜粋)

